



2016.3.27 復活祭

復活節に関して

助任司祭フック神父

主のご復活、おめでとうございます。

ご周知のように、復活祭は年によって異なっています。今年は3月の27日でした。しかし、カトリック教会は主のご復活をこの日に限ってではなく、復活後の八日間にも、盛大に祝い続けます。この八日間の感謝のミサ聖祭において、日曜日や祝日のような形で「栄光の賛歌」を歌いますし、「復活の続唱」を唱えるのも大いに勧められます。そして、復活後の八日間が過ぎても、教会は主のご復活という出来事について、特にみ言葉の典礼をとおして語り続けています。要するに、カトリック教会は復活祭から聖霊降臨までの50日間をもって「死から生命へ」という主イエス・キリストの過越の神秘を祝うわけです。復活のロウソクも聖霊降臨まで灯され続けます。「復活節の50日間を一つの大きな祝日とみなし、繰り返し復活のキリストとの出会いを体験する、他者との出会いを体験する方向にもっていくのがふさわしいとされています」※という提言があります。言い換えれば、50日間の復活節は一体性を保ちながら、復活信仰、特に新しく洗礼の秘跡を受けた方の信仰を育て続ける大切な期間です。復活節の締めくくりとして聖霊降臨の祝日とおして、かつての弟子たちと同じくキリスト者のわたしたちも主の復活の喜びに満たされ、聖霊の力によって世界のあらゆるとこ

(2ページに続く)

平日のミサ時刻：

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時
第3土曜日 午前10時30分 子供のミサ(マリア館)
火曜日 午後7時
金曜日 午前10時 初金曜日 午後7時

主日のミサ時刻：

土曜日 午後5時 (ミサ後、聖体礼拝)
日曜日 午前8時・9時30分・午後6時
Sunday Mass in English 9:30 am
(in the Marian Hall)
ベトナム語のミサ 第4日曜日 午後3時30分

(2ページからの続き)

に派遣されます。つまり、主が死に打ち勝ったというメッセージを受け、その信仰の確かさを典礼において繰り返し体験し、続いて復活の喜びを告げ知らせる者になるまで、ということを意識しながら過ごすのが復活節の特徴です。(※『キリストの神秘を祝う』、日本カトリック典礼委員会・編、99頁への参照)

皆様、新たな心をもって2016年度をスタートするとともに、主のご復活によってもたらされた希望や喜びを復活節の典礼の中で体験することができますよう祈りましょう。

堅信感想文

伊東 賢太

ヤン神父、梅村シスター、その他、私をみちびいてくださったみなさまにまず感謝したいと思えます。

あなたがたが私たちにしたこと、これから生きていく先で一度ふと思い返す時があるでしょう。それをどう言うふうに使うかは一人しだいですが堅信でつちかした知識、行動で人は救われるかもしれない。

しかし人間はおろかです。イエスのような人がこの世にそんざ

いしたならば、それを信じることをつていつにこぼむような人はどれほどおろかだろうか(イエスをしよけいした人たちのこと)。

となりの文はただ言いたかっただけなのでとぼしてください。ともかく、来年もさ来年も中一は入ってきます。その時はがんばってください。堅信式 イベントもあつたりして楽しかったです。

短い文ですがありがとうございます。

洗礼感想文

パウロ 安藤 渉

私は20年前、南山大学の学生でした。20歳にもなりながら、今後、自分はどのように生きていくのか、真剣に悩んだ事もない幼稚な自分を指導教員は「君は本当に生きていくのか。本当に神を信じていないのか。宗教は何でもよいが、神の存在は信じて」と言われ続けたことを覚えております。

今までの自分の人生を振り返ってみると様々な事があり、良く生きてこれたなど思わずにはいられません。これは、運が良いのではなく、何らかの導きが有るのではないかと思ひ南山



教会に通い始めました。

勉強会の中で、存在という言葉聞き、自分とは何者なのかを真剣に考え、自分の核となる存在、絶対的存在者の存在を受け入れることができたのが、洗礼を受けた動機です。

生きている限り、不安と不満がなくなる事はないと考えますが、キリストを信じ、自分の人生を自分で歩みたいと思います。

アンナ 浅井 あさみ

教会が遊び場だった幼い頃。辛い時、お聖堂でお祈りしていた学生の頃。子育て介護、振り返ると半世紀。受洗までのこの道のりは、私に注がれた大きなお恵み、と感謝のできる歳になりました。たくさんの方に支えて頂いたこれまでの時間を胸に、これからは、神に添い、人に添い、天使見習い中の母の気持ちに添いますように、心を深めていきたいと思ひます。

教会の入口で不安げな顔をしてると思ひますので、お声かけ下さいますと

嬉しいのです。どうぞ、よろしく
お願いいたします。

フランシスコ 松野 友宣

カトリック信者の母が亡くなったのは、去年三月のことでした。南山教会で葬儀ミサをしていただきましたが、この時初めて知ったのは、母は戦後の翌年十三歳という年齢で、洗礼を受けたということでした。

大好きだった父親を戦地で亡くしたことが、母の心を大きく揺り動かすこととなったのでは
どうか。母の身の回りには信



者はいません。母は何を思い何
を考え、カトリック信者となっ
たのでしょいか。今では想像す
るよりほかはありません。

「いつも祈っているよ」が口
癖だった母は、私が教会のある
カトリック系の幼稚園に通って
いた時も、信者となるように勉
めることはありませんでした。
ただ晩年となって、二人で教会
へ行くことがありました。

この春、私は母と同じカト
リック信者となり、新しい出発
を迎えることとなりました。母
はどう思うでしょうか。喜んで
くれるでしょうか。遺影の母
は、穏やかな笑みを浮かべてい
ます。

カミロ 齋藤恵

学生時代にバチカン訪問時、
物見遊山で全世界からの群衆に
紛れていると、サンピエトロ寺
院のテラスから法皇ヨハネ・パ
ウロ2世が現れスピーチされま
した。長崎の水害の被害を心配
されているとの内容でした。今
の私にとつては大変貴重で有り
難い体験ですが、そのお恵みに
も気付きませんでした。

そんな私が信者になるとは青天
の霹靂と感じています。周産期
医療に従事し、約7500件の

分娩に立ちあつてきました。全
てが五体満足ではありません。
そんな時は無力さを感じ、常に
緊張状態のまま生活していまし
た。自分の力、能力だけではど
うにもならない、そんな時南山
教会と出会い、至福八端の教え
に救われ、黄金律を心に抱き生
活できる事に幸せを感じており
ます。時間の無い私に特別な計
らいをしてくださったボクダン
神父様、闘病中にも関わらず勉
強会を開いて頂いたシューベル
ト神父様、そして神に感謝いた
します。

マルタ 鵜飼喜世子

私の実家のルーツは長崎に
あつて親戚一同明治の始めから
続くカトリック信者です。それ
にも拘らず宗教は自分の意志で
選ぶものだという父の主旨で幼
児洗礼には授かつておりません
でした。そのため受洗は私の念
願でしたが仏教徒に嫁ぐに至り
叶わぬ事とあきらめておりまし
た。その主人も七年前に他界
し、その後キリスト者として生
き、信者として死を迎えたいと
の思いが年ごとに募り今年やっ
とその思いを果たす事ができま
した。多くの方から祝福を戴き
喜びと幸せに浸っております。



お御堂にいと深い平安の気持
ちに満たされ、これは幼い頃に
培われた教会という共同体また
血縁への帰属心から生じてくる
ものの様に思われます。教会の
行事には習慣として参加してき
ましたが聖書、教義をきちんと
勉強した事がなくこれは今後の
課題、今は仕事に忙殺している
身です。でリタイヤしたら真剣
に取り組もうと楽しみにしてお
ります。今後もどうぞよろしく
ご指導お願いいたします。



親の場合は、子どもの絶対的な信頼には、何の根拠もないので、父親に絶対的な信頼をかかえる子どもは、がっかりするに決まっています。時に、父親は、できることさえしないか、自分の子どもに害を与えることもありますので、子どもの信頼は、父に対する恨み、憎しみや軽視に変わることも少なくないです。けれども、イエス・キリストの体験と、数えきれないほど多くの人の体験が示している通りに、天の父は、ご自分に対する信頼を絶対に裏切ることがないのです。確かに、イエス・キリストは、父である神の御独り子ですが、私たちが洗礼を受けるときに、神の命と神の愛である聖霊を与えられたことによって、養子とされましたの

で、イエスと同じように神に向かって「アッバ」と言うことができます（ロマ8・15）。要するに、私たちはイエス・キリストと同じように、完全に安心して、大胆に神に近づき（エフェ3・12）、神にすべてをゆだねて、神との親しい交わりの内に生きることができるといふことです。

私たちは、大きな親しみを返して神のことを「父」と呼ぶときに忘れてはいけないことがあります。神は、ただ「私の父」であるのみならず、「私たちの父」、つまり、神の愛と命を受けて、神を自分の父として認めたいすべての人の父であるということなのです。実は、神は私を愛してくださるように、すべての人を愛しておられますし、神は私が神の命にあずかり、愛の絆によって神と結ばれることを求めておられるように、すべての人々が神の命にあずかり、愛の絆によって神と結ばれることを求めておられるのです。結果的に神が求めておられるのは、すべての人々が愛の絆によって互いに結ばれること、真の兄弟姉妹になることなのです。神は、すべての人々を神の家族として集めるために、常に働いておられますし（マタ23・37）、この望みを実現するため、ご自分の子どもとなった私たちの協力を求めておられる（マタ5・16）ということも、神のことを「私たちの父」と呼ぶときに思い起こすのが大事なことです。

表現されています。「わたしは神であり、人間ではない。お前たちのうちにあつて聖なる者。」（ホセ11・9）確かに、神は、私たちの世界を超越しておられるほど偉大な存在で、私たちに全く理解も想像もできない、誰よりも恐れ敬うべき方であるために精神的に最も遠い方と共においてくださり、ご自分の愛と命を与えてくださって、私たちの内におられる方であるために、誰よりも身近な存在です。これを理解するのは、非常に難しいことです。また、祈るために、神の前に立つときにこの事実を意識しようとするのもあります。けれども、この緊張感、祈りを妨げるこの緊張感、祈りを感じることになりません。逆に、この緊張感のためにこそ、神のことを当たり前の存在として考えることも、神の前で平気になることもできず、常にこの両極端の間には、生かされますし、神との交わりが段々と深まっていくのです。

私たちは、誰よりも信頼することも、親しく交わることもできる父は、「天におられる方」であるということをも意識するようにイエスが教えてくださいます。神が、「天におられる」とは、距離の問題ではなく、本質の問題です。要するに、神は、どこか遠いところ、例えば雲の上におられるということではなく、地上のものである私たちと、本質的に全く異なる方であり、私たちの現実を完全に超越しておられる方であるということなのです。人間と神の相違もできず、常にこの両極端の間には、有と無、有限と無限、絶対と無、無力と全能、被造物と創造主との相違です。この事実

は、ホセア書の中で次の言葉です。

第1回運営委員会

4月3日

司祭団より

4月8日、フック神父様3か月間、そのあとヤン神父様が3か月間お休みをします。

年間行事の訂正がありましたら木曜日までにボクダン司祭か事務までお知らせください。

3月19日に叙階されたフアン助祭は毎週9時30分のミサのご奉仕をしていただけます。

報告・連絡事項

運営委員長挨拶

(運営委員長)
議長をヨセフ会の小池様、副議長をマリア会の今枝様が務めます。

3月12、13日、ブルーノ神父様黙想会 (主任司祭 典礼委員会)

予定通り行うことができました。できれば、一年おきで、神言会の司祭、他の修道会の司祭に四旬節の黙想指導をお願いしようと考えています。信徒の皆さんも、この司祭の方のお話をお聞きし黙想指導をしていただきたいとお考えの方は、できるだけ早い時期に、主任司祭に申し出てください。

4月3日(神のいつくしみの主日)、副議長の選出。各委員会における変更点があれば、要開示。

信徒協献金

(信徒協委員)

信徒協の唯一の収入源であり、毎年この神の慈しみの日に各小教区にて献金が行われます。今年も無事行うことができました。

4月17日 信徒使徒職協議会総会の議題と出席者 (信徒協役員)

次回、運営委員会にてご報告いたします。

4月29日宣教司牧協議会総会

(ボクダン師 運営委員長)

布池教会にて、終日会議が行われます。教区の交流の意味もあり、ボクダン司祭と神戸氏とクマイ氏が参加予定です。マリア館の空調設備について

(営繕委員会、運営委員長)

前年度の運営委員会で工事は決定しています。5月16日、27日の日程で行われます。この間マリア館全館を閉館します。エレベータが使用できるかは確認中です。

審議・相談事項

運営委員会について

(運営委員長)

運営委員会の組織、規約の内容と活動の確認。運営委員会議

務所にお知らせください。大規模補修の進め方 (営繕委員会、運営委員長)

①委員… 主任司祭 正副運営委員長 財務委員長 営繕委員長 顧問

②今までやってきたことの報告を行う

③これからやらなければならないこと

④スケジュールの立案

委員に立候補していただける方がいらっしゃいましたらご連絡ください。

メンバーについてはよろしいでしょうか? ↓承認されました。

教会年間諸行事と担当の確認

(運営委員、運営委員長)

新資料の確認と5月予定の教会美化・バーベキューへの対応、救急法講習会、避難訓練、バザー等の確認を含む

今週木曜日までに、訂正などがありましたら事務所までご連絡ください。よく目を通しておいてください。

来週日曜日に最終版を作成し、教会全体に公開します。

わだち祭りを5月29日に追加。典礼研修会 1月11日 ↓ 2月11日に変更。

その他、お気づきの点がありましたら、会ごとにまとめて変更。

ヨセフ会全体集会の準備状況

(ヨセフ会)

聖週間〜ご復活について ミサの開催

(司祭団、典礼委員会、マリア会、ヨセフ会、他) 侍者についての打ち合わせを行う可能性が有ります。オルガ

ンについてはバンド演奏への変更となるはずで、夜祭、ご復活の主日、パーティーへの参加人員と飲食物の提供者、労働の提供者

よかつたこと、良くなかつたことを含め、今後に必要なことは？

参加人数は例年どおりで盛況でした。聖木曜日の洗足式には侍者の3名だけだったが、もつと多くてもよかつたのではない

か？今後は、運営委員会のメンバー等にも洗足式に参加していただくよう取り計らっていく。

ワールドユースデイの支援

7月にポーランドにて行われます。南山教会からの参加希望があれば、2名分までの旅費を司祭館と教会から支援をする。

南山教会からの参加希望者がいない場合は、カトリック中央協議会へ寄付金を出す。日本からの参加者がより多く行けるよう

に南山教会からの寄付金を30万円ほど(1名分の往復航空券相当)出すという事で承認された。南山教会の青年会から誰

かが行けるか検討してほしい。南山から行ける場合は司祭館よりも15万円支出します。

各会報告

マリア会…例会毎に東日本大震災の募金を集め、1年間の合計

5月15日 インターナショナル

額が55,810円になりました。主日 枝の行列を計画通り野外で行う。

4月1日(金) 初金ミサの後、マリア会例会が行われました。ボクダン神父様の講話の

後、マリア会の新連絡網を配布しました。又、各週順番に行つ

ている聖堂の掃除の方法を各班確認して、合わせて4月17日

(日) 炊き出し支援・福音館春祭りへの「いなりずし作り」の

協力を会員にお願いしました。今年も、マリア会例会時に東

日本支援の募金を続けることが決まりました。

ヨセフ会…4月10日に第1回班長会を実施。

ヨセフ会全体集会を4月24日(日)11時〜開催予定。

今年度も昨年と同様教会美化(BBQ含む)、救急法講習会

等への協力を行っていく予定です。ボーイスカウト…スカウトバ

ザーを6月12日(日)に開催します。

活動資金確保と友情の輪を広げるため是非商品のご寄付をお願いいたします。

食券の販売の協力もお願い申し上げます。

典 3月20日 受難の

教会維持費	3月は1.911.602円の維持費が納められました。有難うございました。
	教会の維持・運営・宣教活動は、教会信者全員が毎月納める維持費によってまかなわれますので、よろしくお願ひします。

次回は、5月8日

南山句会

平成二十八年三月九日



パラグアイを語る神父や梅日和

仕る桃の節句の燭ともす

数を増す梅の蕾や恙なし

師の志気の高きを語る四句節

春光や野鳥の影の慌し

黄昏の導のごとし白木蓮

春雨やひとしきり野の鎮もりて

梅真白殉教碑へとレクイエム

せつ子

真喜子

とく子

公子

一藤

豊子

聖子

義子

毎月第二水曜日午後一時半
マリア館二階集会室

信者の消息

受洗

おめでとうございます

ユスタ ^{たけなか} 竹中 ^{ゆうか} 優華
 パウロ ^{あんどう} 安藤 ^{わたる} 渉
 アウグスティナ ^{たなか} 田中 ^{えりみ} エリミ
 マルタ ^{うかい} 鶺鴒 ^{きよこ} 喜世子
 マリア・ルイーゼ ^{やすだ} 安田 ^{ひろみ} 浩水
 カタリナ ^{ただだ} 玉田 ^{あい} 愛
 カタリナ ^{ただだ} 玉田 ^{かえで} 楓
 ヨハネ ^{たけもと} 竹本 ^{ひろき} 紘希
 モニカ ^{いいだ} 飯田 ^{みゆき} 三友紀
 ヨゼフ ^{うえの} 上野 ^{こうぞう} 幸三

フランシスコ ^{まつの} 松野 ^{ともり} 友宣
 アンナ ^{あさい} 浅井 ^{あさみ} あさみ
 カミロ ^{さいとう} 齋藤 ^{めぐむ} 恵
 マグダレナ・ソフィア ^{いで} 井手 ^{かおり} かおり
 ミカエル ^{しのだ} 篠田 ^{せいほう} 世豊
 ペトロ ^{チャン・ホアン・カイ}

転入

ようこそ

テレジア ^{さか} 坂 ^{まりこ} 眞理子 (恵方町教会)

帰天

神の栄光にあずかれますように

3/28 ^{やまもと} フランシスコ ^{まゆみ} 山本 真由美
 3/29 ^{おがわ} ペトロ ^{たかし} 小川 孝
 3/31 ^{うえの} エリザベス ^{みつこ} 上野 光子

2016年4月 - 5月行事予定表

	教会典礼歴	南山教会行事	各会活動	教区行事・その他
4月	3(日)神のいつくしみの主日		1(金)マリア会例会(懇談会) 3(日)中高生会始業式 3(日)11:00運営委員会 10(日)典礼委員会 10(日)ヨセフ会班長会 10(日)教会学校 16(土)10:30子ども部屋 23(土)要約筆記付きミサ 24(日)ヨセフ会全体集会 24(日)侍者集会	3(日)信徒協献金 17(日)召命祈願日 29(金)宣司評総会
5月	聖母の月 8(日)主の昇天 15(日)聖霊降臨の主日 22(日)三位一体の主日 29(日)キリストの聖体	(決算書の承認)決算書提出 8(日)マリア祭の聖母行列 (9:15)(母の日) 15(日)天使ミサ日英合同ミサ(9:30) 22(日)教会美化・BBQ (29日予備)	6(金)マリア会例会(懇談会) 8(日)11:00運営委員会 15(日)ヨセフ会班長会 15(日)典礼委員会 21(土)10:30子ども部屋 28(土)要約筆記付きミサ	1(日)世界広報の日・献金日 15(日)城東ブロック 15(日)インターナショナル・ミサ (南山教会) 19(木)司祭の月集